

鎌ヶ谷市生涯学習審議会 平成28年度第1回会議 会議録

◎ 開催日時 平成28年7月20日(水) 午前10時～12時

◎ 会 場 鎌ヶ谷市役所本庁舎6階 第1・第2委員会室

◎ 出席委員 13名

今村濃太会長、谷口隆子副会長、石田友和委員、伊藤眞由美委員、清松権男委員、佐藤克己委員、篠田繁委員、篠原勝委員、竹内春美委員、田中順子委員、細井和美委員、御代川泰久委員、行森光子委員

◎ 欠席委員 6名

秋谷久美委員、石川宏貴委員、河合峰夫委員、川村めぐみ委員、高橋里香委員、古川知己委員

※鎌ヶ谷市生涯学習審議会の委員定数19名に対し、出席委員13名であり会議は成立した。

◎ 事務局 5名

青木生涯学習推進課長、大関生涯学習推進課主幹、渡邊企画調整係長、関企画調整係主事、田中企画調整係主事

◎ 傍聴者 1名

1 開会 (谷口副会長)

2 会長あいさつ

3 会議録署名人の選出

50音順に2名選出する慣例により、清松委員、佐藤委員に決定。

会 長： 続きまして、本日の傍聴希望者がいれば、事務局、傍聴者の中へご案内ください。

～傍聴人入室～

4 報告事項

- ・審議会出席状況について

会 長： それでは審議会出席状況について、報告をお願いします。

田中委員より社会を明るくする運動鎌ヶ谷市推進委員会について報告。

今村会長より東葛飾地区社会教育連絡協議会役員会について報告。

～質問なし～

5 協議事項

- ・公民館のあり方について（研究）

会 長： 生涯学習推進課より説明をお願いします。

～事務局より資料に基づき説明～

～アイスブレイク～（自己紹介カード、言葉を磨こう）

資料を基に今後の取り組みの優先順位付けをするにあたり出た意見

【施設について】

- ・どこに公民館があるのか、どんなことをしているのか現在の状況がわからない。
- ・近所の公民館には行くので、地域に根ざしていると感じるが、他の地区の公民館は知らないので、公民館同士のネットワークづくりも必要。
- ・定期利用団体の利用があり、利用したい時に利用できない。
- ・定期的に集まる場所を確保することも必要。特に高齢者はそこが楽しみの場所となり、元気の素となっている。
- ・定期的な活動がなければ、継続していくことは難しい。
- ・公民館主催のイベントを増やし、趣味のグループ利用との利用率を調整すべき。
- ・公民館の利用方法を再考すべき。
- ・部屋の稼働率を船橋市のように上げたい。
- ・公民館の名前を変えたらどうか。
- ・公民館は人を育てる場所。
- ・公民館はカルチャーセンターではない。
- ・公民館は、学校や地域と連携しながら人材の育成ができる場所。

【講座について】

- ・公民館での講座が少なくなった。
- ・青少年が参加できる講座をもっと増やすべき。
- ・若い人たちは、面白い講座に参加する。参加したいと思う講座にすべき。
- ・子育て世帯など、参加したくてもできない人への配慮ある講座・イベントが必要。
- ・興味がわく、質のある講座にすべき。

- ・たくさんの団体とつながった事業が良い。
- ・競技のレベルが高いたけではダメ。
- ・誰でも無料で講座が受けられるのが、公民館の良いところ。
- ・とても良い講座やイベントがある。
- ・公民館まつりをもっとPRすべき。もったいない。
- ・市広報のPR効果、口コミで広がる効果は大きい。

【人材育成について】

- ・良い人材を育てることで地域が盛り上がり、街を活性化させる。
- ・昔は公民館の講座で人が育ち、育った人が地域に出て活動をしていた。
- ・人材育成は難しい。
- ・公民館職員が少ない。
- ・公民館職員がもっと公民館の現状を身近に捉えるべき。

【その他】

- ・明るい雰囲気が必要。
- ・アンケートを取り市民ニーズを把握したい。
- ・公民館めぐりをしたい。
- ・行政がどこまでやる腹積もりがあるのか。
- ・図書館と郷土資料館を行き来できる導線の確保ができれば良い。

～時間の都合により次回へ継続審議とした～

～傍聴人退室～

6 その他

- ・ 副会長から、笑顔いっぱいシルバー元気ゼミ（健康体操）について資料に基づき報告。
- ・ 生涯学習推進課から、清松委員が千葉県社会教育委員連絡協議会の表彰を受賞したことを報告。
- ・ 生涯学習推進課から、一般社団法人全国社会教育委員連合の寄付金のご協力について報告。
- ・ 生涯学習推進課から、第58回全国社会教育研究大会千葉大会への参加について報告。

7 閉会（谷口副会長）

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

平成28年8月10日

氏名 清松 榎男

氏名 佐藤 克己